

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成29年4月1日～ 令和3年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市子ども交流館
条例上の設置目的	子どもの健全な育成と交流を図る
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	子どもにとって、自発的・創造的活動としての遊びは、心身の健全な発達を図るうえで大きな影響を与えることから、子どもの遊び場の設置普及を目的とします。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	近年、児童虐待、不登校、引きこもり等の支援を要する子どもが増加している状況を鑑みると、子どもにとって信頼できる大人がいる「居場所」としての役割を果たすべきものです。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、市民サービスの向上、市民の利用の増加を見込んでいます。
指定管理者名	千葉ミライ子どもプロジェクト事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	アクティオ株式会社 (代表団体)
	テルウェル東日本株式会社
指定期間	平成29年4月1日～ 令和4年3月31日(5年)
所管課	こども未来局こども未来部こども企画課

2 成果指標等の推移

(1) 来館者数 (成果指標1)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
実績値	156,967	153,443	138,122	24,632	473,164
数値目標※	152,458	153,912	155,381	156,864	618,615
達成率	103.0% (113.9%)	99.7% (111.4%)	88.9% (100.2%)	15.7% (17.9%)	76.5% (85.8%)

※市設定の数値目標 689,000人以上/5年累計

(2) 新規登録者数 (成果指標2)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
実績値	12,107	12,536	11,788	1,920	38,351
数値目標※	15,330	15,407	15,484	15,561	61,782
達成率	79.0% (81.8%)	81.4% (84.7%)	76.1% (79.6%)	12.3% (13.0%)	62.1% (64.8%)

※市設定の数値目標 74,000人以上/5年累計

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
出張講座実施回数	8 (目標8)	8 (目標9)	11 (目標10)	3 (目標10)	30 (目標37)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	99,872	97,616	98,526	99,432	395,446
			計画	99,872	97,616	98,526	99,432	395,446
		利用料金	実績					0
			計画					0
	その他	実績	400	423	398	126	1,347	
		計画	400	400	400	400	1,600	
	合計	実績	100,272	98,039	98,924	99,558	396,793	
		計画	100,272	98,016	98,926	99,832	397,046	
	支出	実績	99,745	99,507	100,175	94,129	393,556	
		計画	100,272	98,016	98,926	99,832	397,046	
収支	実績	527	△ 1,468	△ 1,251	5,429	3,237		
自主事業	収入	実績	2,135	2,513	2,250	259	7,157	
		計画	2,070	2,400	2,508	2,708	9,686	
	支出	実績	1,845	2,118	2,096	305	6,364	
		計画	2,070	2,400	2,508	2,708	9,686	
	収支	実績	290	395	154	△ 46	793	
総収入	実績	102,407	100,552	101,174	99,817	403,950		
総支出	実績	101,590	101,625	102,271	94,434	399,920		
総収支	実績	817	△ 1,073	△ 1,097	5,383	4,030		
利益の還元額	実績	0	0	0	0	0		
利益還元の内容								

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	指定管理者設定の数値目標については達成できていないものの、来館者数については、市設定の数値目標を達成している。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	提案時の提案額とほぼ同額で運営されている。
3 市民の平等利用の確保	C	届出及び使用許可申請について、適正に処理されている。
4 施設管理能力 (管理運営の執行体制、従業員の管理能力向上、施設の保守管理)	C	必要な専門職員が配置され、適正な管理運営の執行体制が整えられていた。また、事業運営の改善や支援を要する子どもへの対応など幅広い内容の研修が行われていた。
5 施設の適正な管理 (関係法令等の遵守、リスク管理・緊急時対応)	C	概ね提案書のとおり、関係法令等を遵守しながら実施されていた。
6 施設の効用の発揮 (利用者への支援、利用促進の方策、利用者意見聴取・自己モニタリング、施設の事業の効果的な実施、自主事業の効果的な実施)	C	公民館や小学校などにアウトリーチを実施し、新規登録者の確保に努めたほか、保育園の招待事業や運動会、遠足等を積極的に受け入れた。また、大学生やシニアボランティアなどを積極的に受け入れることで、子どもたちの異年齢交流の場を広げた。
7 その他市長が定める基準 (市内業者の育成、市内雇用への配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	市内在住者を積極的に雇用したほか、継続雇用を原則としていた。また、障害者雇用の確保に努めた。

総合評価	C
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

来館者数については、指定管理者設定の目標を達成できたのは、平成29年度のみであったが、市設定の数値目標については、平成29年度から令和元年度まで上回っており、指定管理者の努力が窺える。また、魅力的な講座やイベントを開催し、来館者数の増に努めるとともに、アウトリーチでの積極的な新規登録者の獲得に努めたほか、本市のこども施策への協力体制があり、事業実施に貢献した。新型コロナウイルス感染症対策についても、開館時間の変更や利用人数の制限のほか、施設内の消毒やソーシャルディスタンスの確保など柔軟な施設運営を実施した。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、これまでの事業運営を見直ししながら、感染状況に応じたイベント実施方法の変更など臨機応変な対応が必要となる。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) こども未来局指定管理者選定評価委員会の意見

- ①市による評価は概ね妥当であると認められる。
- ②指定管理者制度の導入効果として、当初見込んでいた効果が達成できており、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。
- ③次期指定管理者の選定に向け、成果指標に係る数値目標については、少子化や社会情勢等を踏まえ、指標や数値を設定することが望ましい。
- ④動画コンテンツの提供など、コロナ禍の影響を踏まえた新たな取組みに関する評価手法について、検討された。